

DANNY SUPA

ニューヨークのスポーツシーンを象徴する コントラストが映えるSB DUNKのファーストモデル

2002年2月に北米で開催されたNIKEの展示会でお披露目されたDUNK SB。そのファーストコレクションにラインナップした6色のスニーカーが、現在のスニーカーシーンを席巻するNIKE DUNK LOW PRO SBの直接のルーツである。スケートボーダーをターゲットに設定したNIKE SBブランドが提案するプロダクトらしく、それぞれのカラーブロックのデザインには現役のスケーターや世界的に知名度の高いスケートボードショップを起用。スケートボードのマーケットでは後発ブランドという逆境を覆すべく、話題性の高い演出を用いていた。その6モデルにわたるファーストSB DUNKにおいて最も知名度が高く、現在のスニーカーヘッズに名作と讃えられているのが、ここで紹介するDanny Supa (ダニー・スバ) が手掛けた1足だ。ダニー・スバはSupremeやZoo Yorkのスケートボードビデオにも登場するアイコンスケーターで、このDUNKも彼がNIKE SB NYCチームに所属していたタイミングでリリースされたスケートシューズなのだ。

国内では“ダニスバ”のニックネームでも親しまれているSB DUNK。そのアッパーを彩るオレンジとブルーの鮮やかなコンビネーションはNBAニューヨーク・ニックスのチームカラーをサンプリングしたものであり、ニューヨークのスポーツシーンを象徴するカラーブロックだ。ダニー・スバがNIKE SB NYCチームに所属していたプロフィールに由来するカラーブロックで、鮮やかな発色は現代のストリートでも特別な個性を発揮するものの表面の塗料が経年劣化に弱く、発売から20年を経た現在では指で触れるだけで色移りする個体も少なくない。多くのスニーカーヘッズが復刻を待ち望んでいたが、ダニー・スバがNIKE SB NYCチームを2012年に脱退した影響もあり、長らく復刻の機会に恵まれてこなかった。待望の初復刻は、SB ダンク誕生15周年にあたる2017年にオリジナルとは異なるハイクットディテールで実現。その復刻モデルの発売に合わせ、ダニー・スバ自身も2017年にNIKEと2年契約を結んだと伝えられている。



NIKE DUNK LOW PRO SB

Release year : 2002

Style code : 304292-841

資料提供 : yusuke_airforce1

